

特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会
会報

第5号 '05.12.24

特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会
理事長：依田浩敏

◆ 理事長あいさつ



福岡県では、平成17年5月に「地球温暖化対策に関する法律」第23条1項に基づき、「福岡県地球温暖化防止活動推進員」が委嘱され、地域における活動が開始されました。さらに、「福岡県地球温暖化防止活動推進センター」は、推進員の活動を地域でサポートする「推進員アドバイザー制度」を創設し、同年6月に県内を6つの地域に分けて9名の「推進員アドバイザー」が誕生しました。当協会の数多くの会員がこれらに深く関わり活動を行っております。推進員研修の企画等にも参画し、11月には「福岡県地球温暖化防止活動推進員活動マニュアル」が完成しました。

さらに、松井副理事長を中心として実施された「福岡緑化フェア」のイベントも大成功に終わりました。関係各位には深謝致します。

当協会の事業もようやく軌道に乗り始めましたが、会員個々での活動に対する積極的な協力体制を図るとともに、福岡県の環境行政に寄与すべく前進していく所存でありますので、会員皆様のより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成17年度通常総会報告

去る5月29日（日）、北九州市の環境教育拠点の環境ミュージアムにおいて、総会を行ないました。遅くなりましたが報告いたします。

- 1 日 時 平成17年5月29日（日） 14:35～15:35
- 2 場 所 北九州市八幡東区2丁目2-6 北九州市環境ミュージアム 多目的ホール
- 3 出席者数 社員総数27人のうち21人出席（うち委任状提出者10人）
- 4 審議事項
 - (1) 第1号議案 平成16年度事業報告
 - (2) 第2号議案 平成16年度収支決算報告
 - (3) 第3号議案 平成16年度監査報告
 - (4) 第4号議案 平成17年度事業計画（案）

- (5) 第5号議案 平成17年度収支予算（案）
- (6) 第6号議案 理事・監事の選任に関する件

5 議事の経過と議決の結果

定款第26条（議長の選出）の規定に従って出席者の中から河野 嘉行氏を議長に選出し、上記の6議案について順次審議する事となった。

開催に当たり事務局から正会員総数26人のうち総会出席者が21人（出席者11人、委任状提出者10人）で定款第27条（定足数）の規定による総会成立に必要な正会員総数の2分の1以上の出席があり本総会が成立することの報告があった。

また定款30条の規定により本日の議事録をまとめるに当たり議事録署名人に依田浩敏氏と武藤博昭氏、書記に中尾明子氏を選任したいとの提案があり承認された。

(1) 第1号議案 平成16年度事業報告について



総務担当理事武藤博昭氏より別紙の全体事業及び総務部事業の報告の後、環境教育部（担当理事松井亮二氏）、企画部（担当理事井芹寧氏欠席のため依田理事長代行）、広報部（担当理事植木康太氏）、事業部（担当理事田中雄二郎氏に変わり依田理事長代行）、福岡支所（松井支所長）、北九州支所（津田潔支所長）各部、支所より別紙の事業報告の説明があった。議長より承認を諮り、原案通り満場一致で承認された。

(2) 第2号議案 平成16年度決算報告について

武藤博昭総務担当理事より別紙の決算報告の説明があった。議長より承認を諮り、原案通り満場一致で承認された。

(3) 第3号議案 平成16年度監査報告について

監事吉田順子氏欠席のため総務担当理事武藤博昭氏より別紙の平成16年度監査報告の説明があった。議長よりその承認を諮り、満場一致で承認された。

(4) 第4号議案 平成17年度事業計画（案）及び 第5号議案 平成17年度会計収支予算（案）について

総務担当理事武藤博昭氏より、別紙の17年度事業計画（案）と収支予算（案）について説明があった。次に依田理事長より平成17年度福岡県提案公募事業への応募事業の追加提案説明があった。議長はその承認を諮り、満場一致で承認された。

(5) 第6号議案 理事・監事の選任に関する件

総務担当理事武藤博昭氏より定款細則第3条（理事・監事の選任）に基づき立候補者の受け付けを行った結果（津田潔選挙管理委員長）、定数10名に満たなかったため選挙は実施せず次の立候補者を理事・監事に選任することが提案された。

議長はその承認を諮った結果、満場一致で承認され、被選任者はそれぞれ就任を承諾した。



理事長	依田 浩敏	副理事長	武藤 博昭
副理事長	津田 潔	副理事長	松井 亮二
理事	井芹 寧	理事	植木 康太
理事	北森 成治	理事	中尾 明子
理事	森本 美鈴	監事	田中 豊
監事	吉田 順子		

以上をもって議案全部の審議が終了したので議長は閉会を宣言し午後 3 時 35 分閉会した。

支所だより

福岡支所 「全国都市緑化ふくおかフェア」に出展

松井亮二

去る 9 月 10 日から福岡市で開催された「全国都市緑化ふくおかフェア」に地球温暖化防止啓発を目的に環境カウンセラーの皆さんで英知を絞って考えた温暖化を抑制する植物の働き等を分かりやすく解説したパネルを読みながら、クイズに答えてもらう「みどりのものしり環境博士号チャレンジクイズ」を一週間出展しました。毎日 500 人前後、延べ 3,500 人の市民や子供達がチャレンジし、520 人（約 15%）が満点を取り「みどりのものしり環境博士」が誕生しました。



見事満点をとった子供たちは、虫めがねや花びらが変化する万華鏡、大人は剪定バサミ等の副賞と「みどりのものしり環境博士号」の賞状を貰ってにっこり、子供達は、たぶん学校でじまん話をしたことでしょう。

また、出題の「ヒマワリの大きな花は太陽に向かってまわりますか？」のヒントは「ヒマワリはお金がありません」と説明すると会場から「首は回りません」など応答があり大笑の楽しい環境学習教室でした。

福岡県温暖化防止活動推進員活動報告

福岡県では「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 23 項 1 項に基づき、知事より委嘱を受けた地球温暖化防止活動推進員制度が動き出しました。市町村より 1 名、10 万人を超える市はさらに 10 万人につきプラス 1 名ということで市町村長より推薦を受けた 104 名の推進員が、福岡県地球温暖化防止活動推進センターと連携し、県下一斉に活動を始めてい

ます。本協会からは推進員のみならず、推進員の指導に当たる推進員アドバイザーを 9 ブロック中8ブロックに



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

派遣し、「ふくおか Action Book」の編纂をはじめ精力的な取り組みを開始しました。地域の足元から温暖化を防止し環境の改善を図るため、各ブロックごとに活動計画が練られつつあります。行政や学校とのパートナーシップを模索しながら、地域性に沿った特色ある事業が展開される事を確信していますが、市民意識の未醸成や行政のバックアップ不足など、まだまだ課題も山積しています。2012年には美味しい空気が胸いっぱい吸え、次なる世界目標に向える事を願いながら頑張りたいと、みなやる気を出しています。

（文責：植木）

ECU（環境カウンセラー全国連合会）・九州カウンセラー協会だより

今回よりこのページを新設し、全国並びに九州のカウンセラーの動向を掲載してゆきたいと考えています。第一回は、全国連合会の先崎理事長のご挨拶をいただきました。

ご挨拶



特定非営利活動法人環境カウンセラー（ECU）

全国連合会 理事長 先崎 武

NPO 法人ふくおか環境カウンセラー協会会報に投稿の機会をいただきまして、ありがとうございます。ECUの当面の課題などをご報告させていただきます。ご挨拶といたします。

ECUは、平成17年10月1日に環境省設置法の改正により全国7箇所に設置された「環境省地方環境事務所」とECとの協働が望ましく、環境省及び全国ブロック協議会の方々と協議しています。国は第三次環境基本計画を審議中で、年度内には閣議決定となるでしょう。この基本計画は、今後5年間にわたり国の政策方針の基本となります。環境カウンセラー制度は、平成18年9月で制定10周年となりますが国・社会の評価はどうでしょうか。

わが国の財政は、GDP（国内総生産）比161%で、二位ドイツ70%に大差をつける最悪の赤字国です。政府は、12月末の予算政府原案閣議決定を目指し、行財政縮小のため「聖域なき」の予算編成中と聞きます。9月末には、現実に、財務省は環境省へ「ECは登録しただけでは？」と質問があったことから、財政当局の予算削減の関心は、EC制度にも向けられているとわかります。ことは重大です。ECUは、ECの非営利的、かつ組織的活動は、行財政の縮小のような事態にこそ必要と考えます。本年6月には環境大臣へ提言書を提出し、ECの取り組みの重要性の理解を求めました。EC制度あつてのECです。常勤職員一人のECUですが、EC制度のさらなる発展のために努めてまいります。NPO法人ふくおかのEC協会の皆様をはじめ、全国EC3600各位のECUへのご参加とご協力をぜひお願い申し上げます。



トピックス

自前の発電所、完成！

県大生を守る街灯設置運動の一環として、自前の電力を確保したいと方策を模索していた矢先、(財)九州地域産業活性化センターの九州グリーン電力基金助成金の情報を得、申請したところ300万円が助成される事になりました。(株)エコテックに発注し、12月2日、発電所が完成しました。生涯学習センター（昔の幼稚園）の屋根に取り付けられた3.2Kwのソーラーパネル、寒い中にも神々しく発電を始めました。一旦大学の電気の中に紛れ込みますが、将来その分の電気で我々の設置している約70灯の街灯の一部が灯る事になります。



京都議定書が去る2月16日発効し、CO2排出量を日本は1990年比-6%を義務付けられました。以来排出量は増え、現在の量で換算すれば-14%削減が要求されています。これは一週間7日のうち、1日はエネルギーを全く使えないことを意味します。ぞっとしますがこれが現実です。温暖化防止の一助にもなると喜んでいますが。センターの玄関には発電量を示すメーターも付いています。一度覗いてみてください。

福岡県立大学と共に歩む会

福岡県環境保全活動支援事業～水辺再生事業（モデル事業）に参加して

中尾明子

さる、9月23日、田川郡川崎町下真崎で行われた水辺再生事業「第2回ワークショップ 水辺の体験2」に講師として派遣されました。今回の事業は、福岡県が、身近な水辺環境保全活動支援事業推進の一環として、平成16年度に策定した、「ふくおか水辺の保全活動プログラム」等を活用した事業です。具体的には、モデル地区の方々とNPO等が協働しながら、楽しく、継続して取り組むことができるよう、モデル地区の水辺環境保全プログラム作りに向けた取り組みを行うものです。当日の内容の概略は以下の表の通りです。



①日時	平成17年9月23日(金) 祝日 午前8時～正午
②場所	田川郡川崎町下真崎地区
③参加者	・下真崎地区子供育成会（子ども9名、大人5名）

	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ：福岡県環境保全課 1名 <li style="text-align: center;">NPO法人ふくおか自然・環境保護協会 4名 ・環境カウンセラー 1名
④事業主体	福岡県環境保全課
⑤事業の企画・運営 及び実施団体	NPO法人ふくおか自然・環境保護協会
⑥ワークショップ内容	中元寺川上流（陣屋ダム上流）～川崎町役場付近（川崎中央公園横）までの間の3地点で、グループに分かれた子ども達がパックテストによる簡易水質調査と採水地点の水辺のスケッチを行い、各場所の水辺環境と水質の違いを比較した。

環境カウンセラーとして今回のワークショップでは、子ども達を対象に簡易水質調査の目的や意義、さらに実際の調査活動のしかたや、結果に関する考察等の解説やアドバイスに携わりました。当日は、残暑が厳しかったにもかかわらず、子ども達はとても元気に、そして大人の皆さんはとても熱心に、調査活動に取り組まれました。



陣屋ダム上流地点では、木漏れ陽と谷をわたる涼しい風の中、勢いよく流れる清流に気持ちよく調査ができましたが、約12km下って、最下流地点の川崎中央公園付近の中元寺川では、河畔のコンクリートの照り返しが強烈で暑く、そのうえ住宅街の生活下排水が集中して流れ込む所で、水もよどみ、臭いもありゴミもあちこちに散見される有様で、子ども達も水辺のあまりの変貌ぶりに何やら皆考えさせられた様子でした。



自然の中での原体験のない今時の子ども達には、まず自然の美しさや不思議さの体験を積み上げてから、ゴミ拾いをさせたいというのが私の願いです。まだまだ豊かな里山や里川に恵まれた下真崎地区の子ども達には、ぜひ身近な自然からの素敵なメッセージを受けとめることができるような感性にみがきをかける活動を継続して欲しい・・・と思いながら、川崎町を後にいたしました。



最後に、地元ふくおかの水辺を豊かで楽しいものにしていくためのNPOと行政の連携した活動に、私も環境カウンセラーも積極的にその役割を発揮できればと考えます。ぜひ皆さん、一度これら水辺再生事業の詳細を、『ふくおか水辺ネット』のホームページでご覧下さい。<http://www.fukuoka-mizube.net>

活 動 報 告 北九州支所 角 谷 忠 彦

私は現在、北九州市の環境学習サポーターとして、環境保全の活動を行っており、その一端を紹介致します。

環境学習サポーターは、北九州市の環境ミュージアムを拠点として活動する、市より認定

された総勢95名のグループです。

皆さんは各々が、地域で独自の活動をしている人、或いは企業、学校等をリタイヤした人で現役時の技術・知識を社会の為に活かしたい人達の集まりです。

環境ミュージアムでの具体的活動は、大別すると館内活動と学校・公民館など地域へ出かけて活動する出張ミュージアムに分けられる。

前者は総合学習の一環として来館する小学5年生が主な対象である。館内で展示物の説明・案内、体験エコ工作、科学実験の体験 等などを行っている。

後者は学校・地域の市民センター等へ出向き、環境問題公害克服の話、或いは体験エコ工作などを実施している。最近では、新たに市内のゴミ焼却工場の見学者(主として小学4年生)を対象に工場の説明・案内も行っている。

又館外活動の一環として、各地域での各種イベントには可能な限り参画する様にしている。

環境学習サポーターのもう一つ大きな仕事は、常日頃より体験型学習プログラムを開発して、活動のマンネリ化を防止する努力をしている。今後在り方としては本来の目的・目標である、環境保全に対する意識付け、啓発活動をより広く一般市民に浸透して行く事は、環境学習サポーター、或いは環境カウンセラーでも同じである。

その為にも、学校・公民館・市民センター等地域とより一層一体感を図り推進して行く必要がある。

うっそ〜！

川渡り神幸祭 ポイ捨てよそうキャンペーン 2005 大成功！

生まれてこの方、神幸祭で体験しない出来事が2年連続で起こった。昨年はその忌まわしい大雨。山笠は川を渡れず、橋を渡った。



そして今年は、何と、御輿や山笠の行く手にゴミが見受けられなかった。

そうなのです。苦心の末、改良に改良を重ねた250個の特製ダンボール製ゴミ箱と、田川市職員等の延べ200名を超えるボランティアの威力。

着飾った見物客や子ども達は可燃不燃をきちっと仕分けしてゴミ箱に入れている。不届きな客の散らかしたゴミは

ボランティアが即刻拾い続ける。これで完璧！

58名に及ぶ応援します券の協力をいただいた方、本当にありがとうございました。

そして、市や田川商業高校のボランティアの方々、本当にご苦労様でした。

やれば出来る、を証明した神幸祭となった。

来年こそは神幸祭の主催者や露天商とも協力し合って清潔な神幸祭を再現したいものです。ほんとうにありがとうございました。



絶対お得！『ポイ捨てを止めるダンボールゴミ箱、私も応援します！券』



平成17年5月吉日

田川未来塾 T&F 0947-45-0594 ホームページ <http://mirai.sa-ba.jp/>

事務局だより

◆ 会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。平成17年度会費未納の方は至急納入してください。振込先：郵便貯金総合通帳「ぱるる」
記号 17410 番号：75552581 名前：福岡環境カウンセラー協会

◆ 準会員の募集

身近に当協会の趣旨に賛同される方がおられましたら「準会員」としてご入会されるように勧誘してください。定款等は事務局よりお届けします。

◆ ホームページ掲示板の利用

ホームページに掲示板が整備され情報交換が便利になりました。まだ利用されていない方は居住地のイベントの紹介等地域の環境情報の発信にご利用ください。

- ◆ 編集後記：師走になり、走り回っていると何か忘れていたような…。歳を重ねるにつれ忘れものが多くなりがちですが、ボケが戻るようにふっと思い出すことができました。いつも親父に言われていた「うそをついては罰が当たるぞ！」で思い出したのがこの会報作り。本当に申し訳ありませんでした。やっと発行の時宜を得ました。ECUの先崎先生をはじめ、多くの皆様のお陰で発行にたどり着けましたことを、この場をお借りいたしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。また、ホームページが開設され、メーリングリストも設置されました。皆様大いに利用され会員相互の交流を一層進展させてください。
(文責：植木)

特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会 会報 第5号

発行日 平成17年12月24日 (Merry X'mas イブ)
発行 特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会
発行責任者 依田 浩敏 編集者 植木 康太
事務局 武藤 博昭
〒818-0110 太宰府市御笠1-6-18
TEL/FAX 092-925-5344 <http://fukkan.sa-ba.jp/>